

平成 27 年度 公開講座の活動報告

高知女子大学看護学会公開講座「やってみてわかる！分析方法」共催：高知県立大学
今年度は、「やってみてわかる！分析方法」をテーマに、第 1 回・第 2 回は量的研究、第 3 回・第 4 回は質的研究で開催しました。

第 1 回 質問紙の作成とデータ分析の入り口

日時：平成 27 年 9 月 19 日（土）9：30～12：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：内川洋子先生（高知県立大学看護学部准教授）

参加者：32 名

第 1 回公開講座は、看護の量的研究として、講師の内川洋子先生から、統計的な分析の基礎について講義をしていただきました。講義では、質問紙の作成とデータ収集方法について、演習を取り入れ学んでいきました。

参加者からは、「量的研究の振り返りができてとてもよかったです。ポイントがまとまっていて、例などいろいろ聞いてわかりやすかったです。」「初期レベル（入口）から看護研究の考え方など段階別に教わりたいと思いました。」「具体的で今後研究をしていくために勉強ができました」などのご感想をいただきました。



第2回 『効果あり!』を調べる方法～グラフだけではじめる統計法～

日時：平成27年9月19日（土）13：30～16：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：井上正隆先生（高知県立大学看護学部講師）

参加者：33名

第2回公開講座は、看護の量的研究として、講師の井上正隆先生から、演習を取り入れながら量的研究における統計法についての講義をしていただきました。演習では、参加者が練習問題を実際に考えていき、統計のグラフの読み方について学んでいきました。

参加者からは、「分かりやすかったです！もっともっと聞きたかったです。聞きたいところが聞けたけど。」「苦手意識の強い講義でしたが問題を解きながらやっていたのでとても分かりやすかったです。」「統計グラフのみ方、使い方がとてもよくわかりました。」との感想をいただきました。



第1回・第2回の講義とも、参加して下さいました皆さんは、熱心に取り組み、演習では参加者がコミュニケーションをとり楽しく実施していました。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

第3回 インタビューガイドの作成とインタビューの実際

日時：平成27年9月26日（土）9：30～12：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：田井雅子先生（高知県立大学看護学部教授）

参加者：41名

第3回公開講座は、看護の質的研究として、講師の田井雅子先生から、質的研究の方法論、研究のプロセス、研究テーマを設定し、研究の枠組みから半構造的インタビューガイドの作成について、ご講義いただきました。その後、「新人看護師の職場適応を促す支援」を研究課題として、半構成的インタビューガイドの作成とインタビューの実際について演習を行いました。

参加者からは、「今回看護研究をするにあたり、参考になりました」「インタビューは難しい。経験積むのみですね」「わかりやすく教えてください、研究の意欲がわいた」「演習が勉強になりました」などのご感想をいただきました。



第4回 インタビューデータの分析

日時：平成27年9月26日（土）13：30～16：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：池添志乃先生（高知県立大学看護学部教授）

参加者：49名

第4回公開講座は、看護の質的研究として、講師の池添志乃先生から、質的研究におけるインタビューデータの分析方法では、データと繰り返し対話し、対象者の語った言葉を大切にして、現象のラベルづけを行う手順についてご講義いただきました。そして、インタビューの逐語録を用いて、コード化、カテゴリー化を演習しました。演習後に分析結果からのストーリーの描き方のモデルが示されました。

参加者からは、「楽しくてわかりやすかったです」「具体的に演習できたので、今後に活かしていきたいと思います」「リアルに研究している気分が味わえて楽しかったです」「カテゴリーは難しいと思いますが、研究を頑張ります」との感想をいただきました。



第3回・第4回を通しての参加者もいらっしゃいましたが、皆さん最後まで熱心に取り組んでいました。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

これからも皆様の研究活動にお役に立てるような講座を企画していきたいと思っております。